

市史編さん室 事務局活動報告

(令和二年一月～二月)

Ⅰ 古文書等調査の概況

一 古文書調査等調査の概況

市史編さん室では、市内にある古文書等の歴史資料の保存、整理、研究として、また各専門部会活動の資料に利用するため、目録作成・写真撮影等の基礎的な調査を行っている。

令和二年(二〇二〇)一月から一二月の間に、新たに二六件の文書群(約一万点)を借用(一部寄贈)して調査を行っている。今年度は例年以上に新規の文書群が多い。理由としては、市報一二月号に古文書調査への協力依頼の記事を掲載して、広く周知を行ったこと。新型コ

ロナウイルスの影響により所蔵者が自宅にいる時間が長く、古文書類を整理する機会が増えたことも一因であると思われる。

一方、令和二年一月から二月の間に調査を終えた文書群は一三件(二、七七九点)となった。寄贈文書については一三三頁から個別に解説を行い、また、返却した文書群については次項に解説を付した。これにより、平成一九年度から二〇七件の調査を終えたことになる。なお、令和三年一月の段階で、五〇件の文書群を調査中である。他に、熊谷市で所蔵しているものが八件あり、こちらも随時調査を進めているところである。

また、埼玉県立文書館をはじめとする市外の史料保存機関で所蔵している古文書等についても、随時調査を進

めていきたいところだが、今年度は、緊急事態宣言等に
伴う臨時休館や利用時間制限などがあり、希望どおりに
調査が進まなかった。

なお、令和二年四月八日に、上中条筑井繁雄家文書
九五九件の寄贈を受けた。この文書も現在調査中のため、
整理終了後、あらためて紹介することにした。

(文責 水品 洋介)

二 調査終了文書の紹介

三ヶ尻 福島幸子家文書 三点

令和元年八月に借用した近代文書である。福島家は江
戸時代に三ヶ尻村の村役人を務めた家柄で、近代以降も
村役場の助役や収入役を務め、村会議員等にも選ばれて
いる。

今回借用したのは、旧三ヶ尻村の絵図二点と金穀貸付
帳の計三点である。絵図は一筆ごとの地番及び小字名が
記され、田・畑・宅地・林・社寺・道路・沼堀・字界等
に彩色が施されている。縮尺は六〇〇分の一で地区を二
枚に分割しているが、それぞれ縦二九〇cm×横四六〇

cm、縦三七〇cm×横三四〇cmと大型である。形態から地
租改正時の地籍図と思われるが、裏側には明治三七年
(二九〇四)の農商務省の校閲印があり、当時何らかの
調査に利用された可能性がある。明治期の三ヶ尻地区の
土地の利用状況、水路や道路の様子等までを詳細に知る
ことができ、大変貴重である。金穀貸付帳は、福島家
における明治期から昭和初期の金銭貸付の記録である。
調査終了後、令和二年一〇月に所蔵者に返却した。

(文責 小林久美子)

筑波 熊谷聖天宮文書 一五点

令和二年一月に、仏像・仏画専門部会調査で熊谷聖
天宮を訪問した際に借用した近代文書である。古文書は
木箱に収納されており、木箱側面の墨書には「明治参拾
六年七月廿二日旧閏五月廿八日 小泉金蔵納」とある。
初見は明治三〇年(一八九七)推定「日丸講社(大護摩
講結構之旨意・同規則)」である。日丸講結構之主意は、
発起人成田山日丸熊谷大護摩講先達長島忠篤らが作成し
たもので、下総国成田山不動尊を信仰し、大護摩講を結
び将来各家の繁栄、子孫長久を祈る旨意である。護摩講

規則は全九条の条文で、本講は年限満三ヶ年とし、毎年

一回春に成田山へ代参、代参者は抽籤、月掛金六銭などを定め、計三七七名で連印している。同時期の史料としては、成田山不動尊日乃丸講社規約簿があり、全六条か

らなる。日の丸講社事務所が熊谷町久山寺地内にあり、連名は四五二名で、熊谷町のほかに、箱田、万吉、村岡、平塚新田、代、池上などが確認できる。他には、明治

三八年(一九〇五)「第三十三号 成田山星祭人名帳」は、成田山敷石献納勧告からはじまり、眼病のため成田山に

参詣し不動明王の加護を蒙り、敷石を献納し同志を仰ぐ大願の勧告となる。献納金五〇銭を寄附したのは五七名

で、筑波町、万吉、村岡、熊谷町、池守、池上、肥塚などから確認できる。

大正期では、大正四年(一九一五)九月「歓喜天成田山御祭典祭事掛」、大正一〇年(一九二一)三月「歓喜

天灯明料寄附帳」、大正二二年(一九二三)三月「歓喜天成田山大門道路修繕寄附並ニ諸費控帳」などがある。

近代熊谷の信仰、各種寄附についての貴重な文書群である。

る。

本文書群は調査が終了しているため、近々文書の返却

を予定している。

(文責 水品 洋介)

下増田 観音寺文書 九七四点

平成二五年(二〇一三)三月に借用した近代・現代文

書である。本文書群は観音寺に関する文書は少なく、寺院文書というよりは区有文書の性質を有している。初見

は明治一二〜一三年「地券一括」である。帳簿類が多く、用水費割合帳、字費割合帳、月割勘定帳が明治二一

年から明治四三年まで、ほぼまとまっている。各帳簿は年に二度、一月と八月に作成されており、丹念に分析す

れば下増田の各種出費割合状況が一望できよう。また、荒川諸色人足帳(後に用水普請諸色・人夫控帳)も明治

二四年から明治四三年まで、ほぼまとまっている。他には、字内で行われた選挙入札関係がまとまっており、寺

世話人、区会議員、消防頭取、衛生委員、墓地管理者などを入札によって選挙していた様子がわかる。救恤関係

では、明治三〇〜四〇年代の免租出願などがあり、特に明治四三年の大水害の大字下増田の状況を示す文書がま

とまっている。種子救助出願や地租免除願などである。

本文書群は、近代の大字単位（下増田）で行われた各種状況を示すものとして貴重である。調査が終了しているため、近々文書の返却を予定している。

（文責 水品 洋介）

下奈良 滝沢家（岡田屋酒店）文書 四四一点

昭和六二年（一九八七）四月に熊谷市に寄贈された近代文書である。寄贈経緯は不詳だが、市立熊谷図書館で長く保管され、その後、平成一八年（二〇〇六）に市立妻沼展示館内に移されて現在に至る。

滝沢家は、下奈良の商家で酒造を取り扱っていた。初見は明治元年（一八六八）一月「酒造道具帳」である。全体的には大正期の文書が多いが、すべて昭和戦前までの近代文書である。大福帳について、明治一九年（一八八六）から昭和一五年（一九四〇）までのものが二七点ある。当座帳は明治二〇年（一八八七）から昭和一〇年（一九三五）までのものが一三点ある。また、金銭出入帳は明治三九年（一九〇六）から昭和一〇年（一九三五）までに二九点ある。一方、酒造に関する書類が、明治一三年（一八八〇）から大正二年（一九一三）

まで三冊に綴られており、御届や達し等から各種手続きの流れがわかる。

大福帳をはじめ各帳簿を丹念に分析すれば、近代岡田屋酒店の経営状況が一望できよう。近代酒造業の経営状況をしめす貴重な文書群である。整理が終了した後、妻沼展示館にて保管している。

（文責 水品 洋介）

万吉 横森好文家文書 一六二点 一三三頁参照

三ヶ尻 嶋野義徳家文書 一二〇一点 一三四頁参照

行田市 長島弘家文書 二九二点 一三五頁参照

代細井武氏寄贈資料 三点 一三六頁参照

三本 進士和雄家文書 三八点 一三七頁参照

万平町 持田光明氏寄贈資料 六〇点 一三八頁参照

石原岩田豊氏寄贈資料 一〇点 一三九頁参照

赤城町村山茂樹氏寄贈資料 九点 一四〇頁参照

最後に、古文書等の調査をさせていただきました所蔵者、関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

II 埼玉県行政文書調査報告

埼玉県行政文書調査は、平成二四年度に着手して、本年度も継続中である。

三月一七・一九日に、『熊谷市史料集六（神社・寺院・堂庵明細帳）』の校正段階での原物確認調査を行った。今後は、熊谷地域の行政文書を中心に収集を検討していきたい。

（文責 水品 洋介）

III 新聞記事調査報告

新聞記事調査は、平成二四年度に着手して、現在も継続調査中である。

今年度は、昨年度までに調査・収集した分で手付かずの作業を優先させ、埼玉新報の明治四二（一九〇九）年一月から同四三年五月までの記事見出し目録の作成作業を行った（三、一八五点）。二月末時点での新聞記事目録は八八、六六六点となった。

今後は、埼玉新聞の熊谷関係記事全ての収集を予定している。

（文責 水品 洋介）

IV 行政文書の整理・保存

熊谷市文書管理規程に基づき保存期限満了の行政文書が一括廃棄される際に、市史編さん室では歴史公文書等として重要な文書を収集保存している。

本年度は令和二年三月末で保存年限満了となる文書から、保存箱数で一五四箱分の行政文書を収集した。行政文書の保存年限は、五年、一〇年のものである。

収集後の整理作業は、平成三一年分の一〇七箱の整理が終了して、中性紙保存箱で六一箱となった。

また、永年保存文書から廃棄とされた分について、四八箱を本庁舎第一文書庫から選別し、大里文化財整理所に移動した。今後、中性紙保存箱への詰替えを予定している。

(文責 小林久美子)

VI 市政宅配講座等への派遣

令和二年

二月五日 ホテルシティーフィールドかごはら 担当

蛭間

熊谷籠原ロータリークラブ例会

市政宅配講座「直実の時代の熊谷」

二月一六日 秦公民館 担当 仲泉

市政宅配講座「秦地域の江戸時代―「人の生涯」を考える―」

二月一八日 妻沼中央公民館 担当 蛭間

阿うんの会研修会「手紙から見えてくる新たな萩野吟子像」

七月四日 熊谷図書館 担当 蛭間

直実・蓮生を学ぶ会講演会「戦国時代における龍淵寺の信仰とその展開」

七月九日 中央公民館 担当 水品

中央公民館講座「近代の熊谷1 那須開墾と熊谷の人々」

七月一六日 中央公民館 担当 小林

中央公民館講座「近代の熊谷2 大正初期の熊谷とスペイン風邪」

一月五日 吉岡公民館 担当 水品

市政宅配講座「近代の熊谷3 那須開墾と熊谷の人々」

VI 市史編さん業務日誌

【令和元年度】

- | | | | | | |
|------|--|------|---|---------|---|
| 1・14 | 第一回現代専門部会会議・調査（妻沼中央公民館） | 2・7 | 静岡県富士市視察対応（妻沼展示館） | 3・11 | 『仏像・仏画1』最終校正（群馬県前橋市朝日印刷工業（株）） |
| 1・17 | 第三回近世専門部会会議（立正大品川） | 2・7 | 仏像調査（道ヶ谷戸宝珠院） | 3・16 | 石原塚越忠明家文書（追加分）返却 |
| 1・18 | 近世専門部会文書調査（群馬県安中市ふるさと学習館、19日） | 2・10 | 熊谷町役場文書調査（熊谷図書館） | 3・17 | 埼玉県行政文書調査（県立文書館） |
| 1・18 | 兵庫県姫路市森雅史氏来室（吉田市右衛門文書所蔵調査、参考資料借用） | 2・12 | 立正大学古文書研究会との共同事業、四方寺吉田康久家・成沢福田祀晴家文書・下奈良小林家文書搬入及び搬出（17日、立正大熊谷） | 3・19 | 埼玉県行政文書調査（県立文書館） |
| 1・20 | 熊谷町役場文書調査（熊谷図書館） | 2・13 | 熊谷寺史料調査（熊谷図書館） | 3・25 | 『仏像・仏画1』刊行 |
| 1・21 | 伝萩野吟子所蔵資料（聖書）調査（東京都新宿区現代ぶろだくしょん） | 2・16 | 市政宅配講座（秦公民館） | 3・25 | 『熊谷市史料集6』刊行 |
| 1・24 | 『熊谷市史調査報告書 仏像・仏画1』（以下、『仏像・仏画1』編集打合せ）（妻沼中央公民館） | 2・17 | 熊谷町役場文書調査（熊谷図書館） | 3・25 | 『熊谷市史研究第二号』刊行 |
| 1・28 | 宮崎県延岡市視察対応（妻沼展示館） | 2・17 | 熊谷市郷土文化会絵葉書研究会（中央公民館）（12/14） | 【令和2年度】 | |
| 1・29 | 文書資料取扱講習会（県立文書館、30日） | 2・18 | 阿うんの会研修会講師派遣（妻沼中央公民館） | 4・13 | 『熊谷市史調査報告書 中世の石造物』（以下、『中世の石造物』編集打合せ）（妻沼展示館） |
| 1・31 | 埼玉県地域史料保存活用連絡協議会（以下、埼史協）視察研修会（東京都文京区東洋文庫・ミュージアムほか） | 2・21 | 北海道せたな町長視察対応（萩野吟子記念館ほか） | 4・16 | 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う時差出勤開始（6/22） |
| 2・3 | 熊谷町役場文書調査（熊谷図書館） | 2・24 | 『仏像・仏画1』編集打合せ（妻沼中央公民館） | 4・22 | 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う一部在宅勤務開始（6/19） |
| 2・4 | 県立文書館保管指定文書に関する協議（県立文書館） | 2・25 | 熊谷町役場文書調査（妻沼展示館） | 6・1 | 『中世の石造物』編集打合せ（妻沼展示館） |
| 2・5 | 市政宅配講座（ホテルシテイタワー） | 2・26 | 熊谷町役場文書調査（熊谷図書館） | 6・12 | 中世石造物調査（上中条常光院ほか） |
| 3・2 | 熊谷町役場文書調査（熊谷図書館） | 2・27 | 泉寺、押切宝幢寺 | 6・17 | 古文書調査・指定文書調査協議（県立文書館） |
| 3・9 | 熊谷町役場文書調査（熊谷図書館） | 2・28 | 第四回近世専門部会巻担当者会議（立正大品川） | 6・22 | 熊谷市郷土文化会中央班等自主調査研究会（緑化センター）（7/27・8/31・9/28・10/26・11/30、全6回） |
| 6・23 | 古文書調査（県立文書館） | 6・23 | 熊谷町役場文書調査（熊谷図書館） | 6・23 | 古文書調査（県立文書館） |
| 6・24 | 中奈良石坂健彦家文書借用 | 6・24 | 熊谷町役場文書調査（熊谷図書館） | 6・24 | 中奈良石坂健彦家文書借用 |

- 6・25 古文書調査(県立文書館)
- 6・27 第一回近代専門部会会議(熊谷図書館)
- 6・30 古文書調査(国文学研究資料館)
- 7・4 直実・蓮生を学ぶ会講演会講師派遣(熊谷図書館)
- 7・7 仏像・仏画調査データベース構築打合せ(妻沼展示館)
- 7・8 弥藤吾森田安彦氏収集文書返却・追加借用
- 7・9 中央公民館講座講師派遣
- 7・9 妻沼台門満寺調査・同田部井一郎家文書(絵図)追加借用
- 7・13 熊谷くらしの情報局撮影(株)ジェイコム埼玉・東日本熊谷事務所
- 7・16 中央公民館講座講師派遣
- 7・16 埼玉協地域史料実務研修会・アーキビスト認証制度説明会(戸田市郷土博物館)
- 7・22 行田市長島弘家文書借用
- 7・29 行田市長島弘家文書追加借用
- 8・3 行田市長島弘家文書追加借用
- 8・6 古文書調査(県立文書館)
- 8・6 代細井武家文書寄贈受人
- 8・11 第一回現代専門部会会議(妻沼中央公民館)調査(妻沼展示館)
- 8・12 古文書調査(県立文書館)
- 9・1 古文書調査(県立文書館)
- 9・2 古文書調査(県立文書館)
- 9・7 三本進士和雄家文書借用
- 9・8 近世専門部会調査(文化財巡見、備前渠用水)
- 9・20 第一回近世専門部会会議(熊谷図書館)
- 9・28 下奈良小林武雄家訪問調査・同家文書返却分再借用
- 9・30 平塚新田山下家文書(市史編さん室購入分)貸出(熊谷図書館)
- 10・12 熊谷町役場文書調査(熊谷図書館)
- 10・12 三ヶ尻福島幸子家文書返却
- 10・13 中世石造物写真撮影(市内各地、2/3)
- 10・14 下奈良小林武雄家文書追加借用
- 10・19 熊谷市郷土文化会現地研修会(箱田地区)
- 10・19 熊谷町役場文書調査(熊谷図書館)
- 10・23 埼玉協第二回理事会・主管課長等研修会(幸手市郷土資料館)
- 10・23 第二回近世専門部会巻担当者会議(オンライン)
- 10・28 古文書調査(県立文書館)
- 11・2 歴史散歩同行解説(長井地区)
- 11・2 中央個人蔵文書借用
- 11・5 市政宅配講座(吉岡公民館)
- 11・5 中世石造物調査(玉井地区)
- 11・6 中世石造物調査(玉井地区)
- 11・6 熊谷市郷土文化会調査研究会(用水)(市民ホール)
- 11・9 仏像・仏画専門部会調査(筑波熊谷聖天宮・東別府京蔵寺)及び熊谷熊谷天宮文書借用
- 11・10 新堀新田北爪恒平家文書借用
- 11・11 江波萩原彌一家文書借用
- 11・12 妻沼台門満寺村絵図(田部井家文書返却)
- 11・12 万平町持田光明家文書寄贈受人
- 11・16 熊谷町役場文書調査(熊谷図書館)
- 11・16 下川上浄泉寺文書借用(浄泉寺所蔵旧熊谷(個人)関係、同広瀬荒川家及び同道ヶ谷戸鈴木家を含む)
- 11・17 『熊谷市史料集7』関連調査(国立国会図書館)
- 11・17 石原岩田豊家文書寄贈受人
- 11・17 柿沼中沢利行家文書借用
- 11・17 美里町蓮生堂文書調査(熊谷図書館)
- 11・17 拾六間飯島仁家文書借用
- 11・17 『中世の石造物』編集打合せ(妻沼展示館)
- 11・21 第二回近世専門部会会議(商工会館)
- 11・27 赤城町村山茂樹家文書寄贈受人
- 11・27 仏像・仏画専門部会調査データベース

市史編さん室 事務局活動報告

- 11・30 入構築打合せ（妻沼展示館）
熊谷町役場文書調査・借用（熊谷図書館）
- 12・1 西城青木達夫家文書借用
- 12・1 万平町持田光明家文書追加寄贈（一点）受入
- 12・2 『中世の石造物』編集打合せ（妻沼展示館）
- 12・3 西城青木達夫家文書一部返却
- 12・5 近代専門部会・現代専門部会合同会議（男女共同参画推進センター「ハートピア」）
- 12・10 中央個人蔵文書返却
- 12・11 熊谷市郷土文化会調査研究会（用水）（市民ホール）
- 12・14 熊谷市郷土文化会絵葉書学習会（緑化センター）
- 12・14 葛和田舞原博行家文書借用
- 12・14 弥藤吾森田安彦氏収集資料返却・追加借用
- 12・14 熊谷市郷土文化会絵葉書研究会（中央公民館）
- 12・17 弥藤吾森田安彦氏収集資料返却
- 12・21 仏像・仏画専門部会調査（久下東竹院、妻沼展示館）
- 12・21 行田市市長島弘家文書寄贈受入
- 12・21 第三回近世専門部会巻担当者会議（オ

ンライン）

- 12・22 古文書調査（県立文書館）
- 12・22 妻沼長谷川浩夫家文書追加借用
- 12・23 古文書調査（県立文書館）
- 12・24 古文書調査（県立文書館）
- 12・28 三ヶ尻嶋野義徳家文書調査報告及び追加借用

※本業務日誌は、事務局が関わったものについて記載しています。